

平成24年度事務事業外部評価 評価結果と対応方針

外部評価番号	17	事業名	望月土づくりセンター管理運営事業	所管課	望月支所 経済建設課
--------	----	-----	------------------	-----	---------------

各委員による評価や意見等					
評価	委員数	改善したほうがよいと思う点		今後どのように取り組むべきか	
		現行どおり・拡充	4	-	利用できる畜産農家の拡大と臭気対策、周辺道路改良など。
		-	畜産農家の高齢化・家畜の減少は残念ながら進行か。貴重な有機肥料事業、広域収集を含め何とか維持したい。		
要改善	9	原料となる畜ふんの受け入れ拡大	大谷地区との協定を見直し、佐久市や近隣町村からの受け入れ拡大を図る。堆肥の販路の拡大も図る。(価格設定も検討する。)		
		運営の方向性	JA佐久浅間農協に移管を検討予定とのこと。早期対応に努めてほしい。		
		情報発信大切(PR不足)。市内大小農家はもとより、一般市民も菜園づくりに関心が高く、今後大量な需要が期待できるので、積極的に良質な製品の普及に期待。	望月地域農家の大量消費のうえに、JAも加わり、堆肥の効果PRに努める。循環型農業の普及啓発。委託料を節減し、本来の目的意識喚起。		
		家畜数に応じて有機肥料を生産する。	家畜数を増やして肥料を増産するのではなく、家畜数に応じた対応がよいと思う。		
		-	JAに払い下げ(施設の売却)を、指定管理の期限後に検討する。		
		他地区からの搬入	利用減少の中で大規模改修実施。搬入範囲を広げることが条件。		
		収支バランスの改善	収支バランスをとるため、利用料金の値上げを検討する。		
		-	環境を整えて、市から農協に事業譲渡をする事を考えるべき。		
		受益者負担金、成果を高める工夫	-		
廃止	2	-	現状から、農協、等への外部移管が望ましい。		
		-	民間へ譲渡		
各委員評価集計結果		現行どおり・拡充	要改善	廃止	
		4	9	2	

委員会としての評価結果	<p>地元との協議など、施設をより有効に活用すべきである。</p> <p>また、今後の管理運営については、指定管理期間満了に合わせて、団体等への移譲も含め検討する必要がある。</p>	要改善
-------------	---	-----

※「委員会としての評価結果」は、各委員の評価をまとめて最終的に審議した上での評価であって、「各委員評価集計結果」の最も多い評価を評価結果とするものではありません。

市の検討結果

評価結果を受けて現時点で考える今後の対応方針	<p>○ 施設の有効利用を図るため、臭気対策、道路改良などの条件整備について、地元地区との協議を進めます。</p> <p>○ 民間等への事業譲渡についても、施設の状況などを考慮しながら、地元地区等と協議する中で検討していきます。</p>	改善
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原材料の搬入地域の拡大のため、条件整備について地元地区と協議を進めます。(臭気対策・道路改良など) ・ 循環型農業、有機たい肥のPRを積極的に行い、施設の有効利用を図ります。 ・ 利用料金等の見直しについては、事業の経営状況、近隣の堆肥価格等を検証しながら、土づくりセンター運営協議会で検討していきます。 ・ 民間等への事業譲渡については、施設の状況等を考慮しながら、地元地区等と協議する中で検討していきます。 	